



# 環境リスクPress

2016年7月発行 / VOL.8

## アスベスト関連ニュース 2016年7月9日

### 煙突の建材にアスベスト 堺市事務所解体中に判明

堺市は23日、市北部地域整備事務所(堺市北区)の倉庫の煙突を解体したところ、建材の一部からアスベスト(石綿)を検出したと発表した。隣接する保育園の土壤などの周辺環境に影響がないかどうか調査している。

市によると、整備事務所の改修工事に伴い、18日に倉庫の屋上に突き出た高さ約2・3メートルの煙突を解体。20日に職員が建材に石綿のようなものがあるのを見つけ、21日に内側の耐熱材に含まれていることが判明した。

市は、建材を入れた袋を密閉するなど石綿の飛散を防ぐ措置を取り、含有率が国の基準を超えていないか調べる。

解体時には大気汚染防止法に基づき、材料が石綿を含んでいないか調査しなければならないが、建築当時の図面がなく、確認作業も不十分だった。永野達彦建築課長は「必要な手順を怠り、大変申し訳ない」と陳謝した。

※(参照:産経新聞)

## 土壤汚染対策の基礎知識

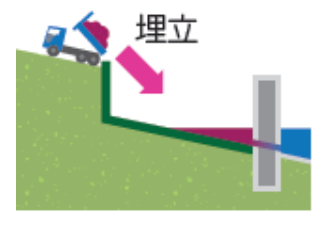
### 処理施設の種類の種類

掘削された汚染土壌は、処理施設に運ばれ処理されますが、その処理には複数の処理方法があります。

汚染土壌処理施設は下記の施設に分類されます。

- ①浄化等処理施設(浄化、溶融、不溶化)
- ②セメント製造施設
- ③埋立処理施設
- ④分別等処理施設(異物除去、含水率調整)
- ⑤溶融
- ⑥不溶化

許可施設数	件数
浄化	35
溶融	5
不溶化	14
セメント製造	20
埋立処理	36
分別等処理	41



汚染土壌の処理は、都道府県知事の許可を持った汚染土壌処理業者でなければできません(土壤汚染対策法に基づき工事の場合)。ただし、自主処理の場合は、許認可がなくとも処理することは可能です。

## 最新トピックス

### 建設業人材不足対策セミナー「新卒採用編」 7月26日(火)、8月25日(木)のご案内

参加費:無料

### 人口2万人の町の年商8億円の無名工務店がゼロから新卒採用をはじめ、140名が入社希望し、優秀な学生6名を採用

前回ご紹介した、アジア建設技能促進協同組合で開催するセミナーをご案内します。今回は、新卒採用に成功した事例です。  
2回にわたってお送りする本セミナーですが、7月26日は理論編として「はじめての新卒採用成功のポイントについて」、8月25日は実践編として「成功企業の実施していること」を具体的にお伝えします。  
ご興味のある方は是非、ご参加ください！

詳しくはコチラ  
URL: <http://aspac.or.jp/>

